

ひまふ 火守りトピックス

No.179 令和3年11月19日(金)掲載



令和3年度全国統一防火標語

『おうち時間 家族で点検 火の始末』



令和3年秋季全国火災予防運動

11月9日(火)から15日(月)まで秋季全国火災予防運動が実施されました。

秋から冬は空気の乾燥や、暖房器具を使用することからより一層、火災予防に注意が必要です。日常の生活から防火を実践していきましょう。

～ 運動期間中に実施された主な行事 ～

【 筑波ダイカスト合同消防訓練 】

11月11日(木)、筑波ダイカスト工業で合同消防訓練が実施されました。マグネシウムを取り扱う工場などでは、火災が発生した際に消火で水を使用すると、化学反応により燃焼を促進してしまうため、消火するときには細心の注意が必要です。今回の訓練は、消火方法や自衛消防組織の役割と消防隊との連携を再確認するために実施されました。



※自衛消防隊とは…防火対象物の従業員で構成された自衛消防組織をいいます。

【 防火PR駅伝 】

11月14日(日)、昨年に引き続き防火PR駅伝が開催されました。

2回目となる今回は、遠野中学校区の遠野町、綾織町、附馬牛町及び松崎町の地区ごとに実施され、約2キロメートルの道のりを少年消防クラブ員、消防団員、消防職員が防火を呼び掛けながら「火の用心」の看板をつなぎました。当日は快晴となり、天高い秋空のもと、ランナーが呼び掛ける声と沿道に立つ市民からの声援が町内に響いていました。

来年度は、遠野西中学校区の小友町と宮守町を対象に実施される予定です。



消防団員から少年消防クラブ員への「火の用心」の看板リレー